


修正後（愛知県が修正したもの）	修正前（厚生労働省調査研究により作成されたもの）
<p data-bbox="181 256 728 287">お子さんのきこえのハンドブック（概要版）</p> <p data-bbox="125 304 185 335">表紙</p> 	<p data-bbox="1142 256 1688 287">お子さんのきこえのハンドブック（概要版）</p> <p data-bbox="1086 304 1146 335">表紙</p> 

子どもの「きこえ」に関して知っておきたいこと

『しんせいじ ちようかく新生児聴覚検査^{*1}って何？』

生まれた赤ちゃんに行う、きこえの検査です。音に対する脳（脳波）の反応を大まかに調べて、聞こえにくさがあるかどうかのあたりをつけます。

『リファー（要再検）って何？』

しんせいじ ちようかく新生児聴覚検査で、「音に対する反応がよくないように見える」という場合を「リファー（要再検）」や「要精密検査」と呼び、「きこえの専門医に相談しましょう」ということを意味しています。精密検査については、初めに検査を受けた医療機関に相談しましょう。

『しんせいじ ちようかく新生児聴覚検査で「リファー」と言われた時、何をすればいいの？』

特別なことをする必要はありません。お子さんとのひとときを、心から楽しみながら、愛情をたっぷり伝えてあげましょう。この段階では、きこえにくさの状況ははっきり分かっていません。ただ、家庭でどう過ごしてよいかわからない時には、家族だけで悩むのではなく、サポーターに相談して一緒に考えていきましょう。

*1 医療機関等では、新生児スクリーニング検査、しんせいじ ちようかく新生児聴覚スクリーニング、新生児聴覚スクリーニング検査などと表記されることもあります。

子どもの「きこえ」に関して知っておきたいこと

『しんせいじ ちようかく新生児聴覚検査^{*1}って何？』

生まれた赤ちゃんに行う、きこえの検査です。音に対する脳（脳波）の反応を大まかに調べて、聞こえにくさがあるかどうかのあたりをつけます。

『リファー（要再検）って何？』

しんせいじ ちようかく新生児聴覚検査で、「音に対する反応がよくないように見える」という場合を「リファー（要再検）」や「要精密検査」と呼び、「きこえの専門医に相談しましょう」ということを意味しています。

『しんせいじ ちようかく新生児聴覚検査で「リファー」と言われた時、何をすればいいの？』

特別なことをする必要はありません。お子さんとのひとときを、心から楽しみながら、愛情をたっぷり伝えてあげましょう。この段階では、きこえにくさの状況ははっきり分かっていません。ただ、家庭でどう過ごしてよいかわからない時には、家族だけで悩むのではなく、サポーターに相談して一緒に考えていきましょう。

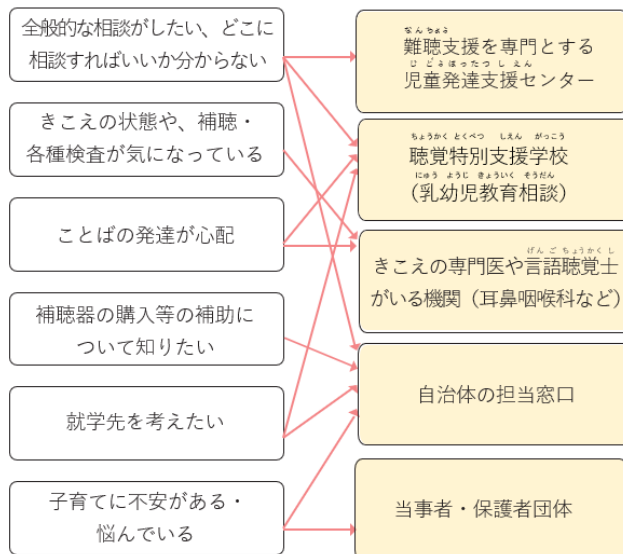
*1 医療機関等では、新生児スクリーニング検査、しんせいじ ちようかく新生児聴覚スクリーニング、新生児聴覚スクリーニング検査などと表記されることもあります。

きこえについての主な相談先

皆さんにもし、分からないこと・不安なことなど相談したいことがあれば、いつでも相談できます。誰に相談したらいいか分からないときは、是非このような機関・施設・団体に相談してみてください。

主な相談内容

主な相談先



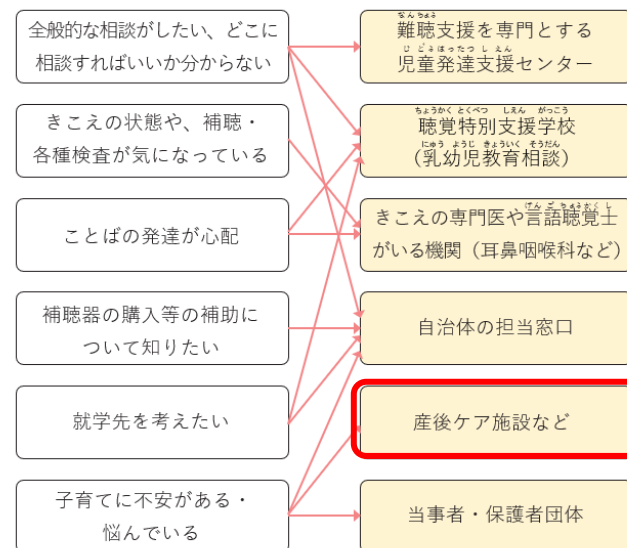
これは一例です。
ここに書いていなくても、気になることがあれば、身近な相談先を利用してサポーターとつながりましょう。

きこえについての主な相談先

皆さんにもし、分からないこと・不安なことなど相談したいことがあれば、いつでも相談できます。誰に相談したらいいか分からないときは、是非このような機関・施設・団体に相談してみてください。

主な相談内容

主な相談先



これは一例です。
ここに書いていなくても、気になることがあれば、身近な相談先を利用してサポーターとつながりましょう。

愛知県

きこえに関する支援・サポートを受けられる主な場所

『関係機関一覧』

機関名	ホームページ (URL)	ホームページ (QRコード)
市町村の相談窓口 (母子保健)	https://.....jp/	QR
市町村の相談窓口 (障害福祉)	https://.....jp/	QR
二次聴力検査機関・ 精密検査機関	https://.....jp/	QR
特別支援学校(聾学校)	https://.....jp/	QR
児童発達支援センター(旧 難聴幼児通園施設)	https://.....jp/	QR
当事者団体	https://.....jp/	QR

『もっと詳しく知りたい!』

このガイドブックの詳細は、下記よりダウンロードして
ご利用いただけます。

【掲載URL】

<https://.....jp/>

QR

XX 県

きこえに関する支援・サポートを受けられる主な場所

お子さんのきこえのハンドブック（全体版） 修正前後比較表

修正後（愛知県が修正したもの）	修正前（厚生労働省調査研究により作成されたもの）
<p data-bbox="181 256 728 288">お子さんのきこえのハンドブック（全体版）</p> <p data-bbox="125 304 185 336">表紙</p> 	<p data-bbox="1144 256 1691 288">お子さんのきこえのハンドブック（全体版）</p> <p data-bbox="1088 304 1149 336">表紙</p> 

目次

目次

- 1章 お子さんが^{しんせい じちやうかく}新生児聴覚検査で
リファーとなった皆さんへ p01
- 2章 お子さんのきこえについて、
今知っておきたいこと p06
- 3章 お子さんのきこえと将来を考える上で、
知っておきたいこと p15
- さいごに p33
- 愛知県における行政機関の窓口や支援施設など

目次

目次

- 1章 お子さんが^{しんせい じちやうかく}新生児聴覚検査で
リファーとなった皆さんへ p01
- 2章 お子さんのきこえについて、
今知っておきたいこと p06
- 3章 お子さんのきこえと将来を考える上で、
知っておきたいこと p15
- さいごに p33
- ○○○○における行政機関の窓口や支援施設など

お住まいの地域によって実施のプロセスが異なる場合がありますので、気になる場合は、検査を受けた医療機関や自治体の窓口で詳細なプロセスについてきいてみましょう。

当自治体の詳細は、以下のとおりです。

精密検査機関一覧：42、43ページ

母子保健に関する市町村窓口一覧：34～37ページ



4 「新生児聴覚検査」でリファールと言われた時、何をすればいいの？

皆さんは、特別なことをする必要はありません。生まれたばかりの赤ちゃんは、新しい世界、そして皆さん家族とのつながりを楽しんでいくことでしょう。お子さんとのひとときを、どうぞ自信をもって自然に、頬ずりしたり、だっこしたり、時にはそっとゆらしたり、いろんな方法でスキンシップを心から楽しみながら、愛情をたっぷり伝えてあげましょう。繰り返しになりますが、この段階では、きこえにくさの状況ははっきり分かっていません。



お住まいの地域によって実施のプロセスが異なる場合がありますので、気になる場合は、検査を受けた医療機関や自治体の窓口で詳細なプロセスについてきいてみましょう。

当自治体の詳細は、巻末に記載しています。



4 「新生児聴覚検査」でリファールと言われた時、何をすればいいの？

皆さんは、特別なことをする必要はありません。生まれたばかりの赤ちゃんは、新しい世界、そして皆さん家族とのつながりを楽しんでいくことでしょう。お子さんとのひとときを、どうぞ自信をもって自然に、頬ずりしたり、だっこしたり、時にはそっとゆらしたり、いろんな方法でスキンシップを心から楽しみながら、愛情をたっぷり伝えてあげましょう。繰り返しになりますが、この段階では、きこえにくさの状況ははっきり分かっていません。



4 節 就学先はどうしたらいい？

この冊子を手取っている皆さんは、まだお子さんが小さいと思いますので、就学や進路についてはもう少し先の話になります。しかしながら、お子さんの就学の選択肢を知っておくことで、将来の見通しを持つことができるようになります。ここでは、簡単にですが、お子さんの就学先の可能性について説明したいと思います。

1 就学決定までの流れ

きこえの課題がある子どもには、「就学先」として、通常の学級のほかに、
聴覚障害特別支援学校への進学、通常の学級にしながら支援を受けられる
通級指導教室やきこえに対するサポートを行う難聴特別支援学級など、様々
な選択肢があります。

就学先を決める上では、お子さんのきこえの程度や課題に合わせて、お子さんと話し合いながらしっかりと考える必要があります。まずは、就学までの間に、就学先の選択肢としてお住まいの地域にどのような学校があるかを把握し、実際に見学に行きましょう。学校によっては、見学だけではなく、実際にお子さんのきこえについて相談に乗ってくれたり、同じようなお子さんの保護者の方を紹介してくれたりする場合がありますので、就学の2~3年前くらいから準備を進めるとよいでしょう。

なお、就学先は市区町村の教育委員会が保護者との相談の上で決定をしますので、就学先の希望がある場合には教育委員会とよく話し合ってください。また、就学先によっては、居住している市区町村の担当課への就学相談も必要になります。担当課名は自治体によって異なりますので、市区町村の窓口で尋ねてみてください。



4 節 就学先はどうしたらいい？

この冊子を手取っている皆さんは、まだお子さんが小さいと思いますので、就学や進路についてはもう少し先の話になります。しかしながら、お子さんの就学の選択肢を知っておくことで、将来の見通しを持つことができるようになります。ここでは、簡単にですが、お子さんの就学先の可能性について説明したいと思います。

1 就学決定までの流れ

きこえの課題がある子どもには、「就学先」として、通常の学級のほかに、
聴覚障害特別支援学校への進学、通常の学級にしながら支援を受けられる
教室でのサポートを受けるなど、様々な選択肢があります。

就学先を決める上では、お子さんのきこえの程度や課題に合わせて、お子さんと話し合いながらしっかりと考える必要があります。まずは、就学までの間に、就学先の選択肢としてお住まいの地域にどのような学校があるかを把握し、実際に見学に行きましょう。学校によっては、見学だけではなく、実際にお子さんのきこえについて相談に乗ってくれたり、同じようなお子さんの保護者の方を紹介してくれたりする場合がありますので、就学の2~3年前くらいから準備を進めるとよいでしょう。

なお、就学先は市区町村の教育委員会が保護者との相談の上で決定をしますので、就学先の希望がある場合には教育委員会とよく話し合ってください。また、就学先によっては、居住している市区町村の担当課への就学相談も必要になります。担当課名は自治体によって異なりますので、市区町村の窓口で尋ねてみてください。

当自治体の詳細は、巻末に記載しています。



裏表紙

本冊子は、PwCコンサルティング合同会社が厚生労働省の補助事業である
令和4年度障害者総合福祉推進事業により作成したものを参照した上で、
愛知県が新たに作成し、提供しています。

裏表紙

本冊子は、PwCコンサルティング合同会社が
厚生労働省の補助事業である令和4年度障害者総合福祉推進事業により作成したものを、
〇〇〇〇が更新し、提供しています。